



平成31年2月15日

被爆者の方々と本学留学生の書道による交流

日時：2月22日（金）13：30～15：00

場所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園6階交流室

被爆者の方々と本学留学生の書道による交流を、下記のとおり広島原爆養護ホーム舟入むつみ園において実施しますのでご案内します。

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園の書道部の皆様（8人）に書道を教えて頂く形で、本学留学生が日本文化体験を行います。本学からは留学生をはじめ日本人学生ならびに教職員（10人程度）が参加します。

留学生は日本語初級レベルであることから、筆で字を書くことが初めての体験となります。色紙に「平和」「愛」などの文字を揮毫した後に「平成三十一年二月二十二日」の日付けと氏名を記入して作品完成とします。完成後に「平成の約30年間はどのような時代であったか」ということについて被爆者の方々と歓談をし、記念写真を撮影して終了とします。

本交流会は、被爆者の方々と実際に接することで、留学生が「平和の尊さを再認識し平和を希求する精神を涵養する」ことを目的に開催します。また、詳細や開催に至った経緯については、開始前の10分間で簡単に説明して理解を深めます（説明担当：嘉陽・英語通訳永井）。

- ・当日は被爆体験講話などの時間は設けておりません。
- ・色紙に書く文字は特に指定せず、好きな言葉を自由に決めて書く形式にします。

記

日 時：2月22日（金）

13：30～15：00

場 所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園6階交流室

（広島市中区舟入幸町14-11）

参加者：舟入むつみ園に居住されている被爆者の皆様（書道部約8人）

舟入むつみ園の職員の皆様（約5人）

広島大学在籍の留学生（6人）（カンボジア、ベトナム、タイ他）

広島大学日本人学生および教職員（6人）

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園は、外部からの慰問・視察・平和学習などで年間に約 1000 人の訪問者が訪れており、平和交流、平和発信の場としても重要な機能を有しております。

むつみ園の皆様には、本学が平成 27 年 8 月 6 日に実施した被爆 70 年祈念平和企画「チェコ共和国への産業奨励館破片『デンティル』の寄贈式典」に際し、発送前の対面式でご協力をいただきました。その後も「平成原爆焼」の陶器制作および看板制作の協働作業へのご参加、ウィーン国立音楽大学と本学からの音楽慰問受け入れ、平成 29 年の「平和と自由の鳩」の協働制作作業へのご参加と寄贈式典の実施、また施設の見学会や平和学習受け入れ等で、多大な御協力を頂いております。

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 国際交流グループ担当 嘉陽礼文

TEL : 090-1185-1620 FAX : 082-424-4545

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

被爆者の方々と本学留学生の書道による交流

日 時：2月22日（金）

13：30～15：00

場 所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園6階交流室

（広島市中区舟入幸町 14-11）

ご出席

ご欠席

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 名）

電 話 番 号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、2月21日（木）12：00まで
にご連絡願います。